



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年7月31日

上場会社名 株式会社 加地テック
 コード番号 6391 URL <http://www.kajitech.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 博士

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 上田 成樹

TEL 072-361-0881

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,057	17.4	68		67		44	
2019年3月期第1四半期	901	34.6	23		20		14	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	26.75	
2019年3月期第1四半期	8.48	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	8,336	5,791	69.5
2019年3月期	8,273	5,902	71.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 5,791百万円 2019年3月期 5,902百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				40.00	40.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	20.2	380	69.3	440	75.5	250	57.4	151.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	1,718,000 株	2019年3月期	1,718,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	62,667 株	2019年3月期	62,667 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	1,655,333 株	2019年3月期1Q	1,655,333 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しており、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、改元や大型連休による内需の改善はあったものの、米中貿易摩擦の激化や中国経済の減速等を起因とした外需の悪化により、停滞感の強い状況が続いています。

日銀短観(2019年6月調査)によれば、2019年度の設備投資計画(全規模・全産業)は、前年度比2.3%増と例年と比べれば小幅な上方修正となっています。また、経常利益計画(全規模・全業種)は、前年度比4.3%減と3月調査から1.8%下方修正されており、前述した海外情勢の懸念に加え、IT需要の停滞や深刻化する人手不足などを背景に先行き見通しは悪化しています。

このような状況にもかかわらず、当第1四半期累計期間における当社業績は、海外市場における石油精製・石油化学案件が増えたこと等により、売上高は前年同期比17.4%増の1,057百万円となりました。また、水素ステーション案件は、順調に受注を重ねております。しかしながら圧縮機市場全体で競争が激化しており、採算の厳しい案件が増えたため、売上総利益は前年同期比7.0%減の217百万円となりました。販売費及び一般管理費においては、電気化学式水素ポンプの開発等、新製品開発の推進による研究開発費の増加等により、前年同期比11.4%増の286百万円となり、営業損失は68百万円(前年同期は営業損失23百万円)、経常損失は67百万円(前年同期は経常損失20百万円)となりました。また、前年度に引き続き、2018年9月の台風21号により被災した工場等の修繕費用を特別損失として54百万円計上しておりますが、それに係る保険会社より提示のあった受取保険金57百万円を特別利益に計上しており、結果として四半期純損失は44百万円(前年同期は四半期純損失14百万円)となりました。当社事業の特性上、売上高は下期に偏る傾向が強くと、上記結果は当初からある程度想定しており、業績は概ね予定通り推移しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間の総資産は、8,336百万円で前事業年度に比べ62百万円増加しました。この主な要因は、固定資産の増加73百万円があったことによります。

当第1四半期会計期間の負債は、2,544百万円で前事業年度に比べ172百万円増加しました。この主な要因は、賞与引当金の減少67百万円があったものの、流動負債その他の増加247百万円があったことによります。

当第1四半期会計期間の純資産は、5,791百万円で前事業年度に比べ110百万円減少しました。この主な要因は、剰余金の配当66百万円及び四半期純損失の計上44百万円により、利益剰余金が110百万円減少したことによります。

以上の結果、自己資本比率は69.5%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績見通しにつきましては、2019年4月26日に公表いたしました業績予想に変更はありません。業績予想を見直す必要が生じた場合は適時に開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	555,874	705,518
受取手形	688,670	838,827
売掛金	1,789,260	1,000,229
製品	8,540	13,380
仕掛品	1,105,302	1,353,889
原材料及び貯蔵品	325,843	362,146
預け金	2,500,000	2,600,000
その他	118,376	202,556
貸倒引当金	△20,100	△15,500
流動資産合計	7,071,768	7,061,049
固定資産		
有形固定資産	748,210	785,872
無形固定資産	39,862	60,496
投資その他の資産		
その他	415,495	430,540
貸倒引当金	△1,400	△1,400
投資その他の資産合計	414,095	429,140
固定資産合計	1,202,168	1,275,509
資産合計	8,273,937	8,336,559
負債の部		
流動負債		
支払手形	780,766	849,538
買掛金	295,120	248,483
短期借入金	50,000	50,000
未払法人税等	76,189	8,400
前受金	45,334	43,116
賞与引当金	137,085	69,992
受注損失引当金	130,000	175,100
その他	265,948	513,243
流動負債合計	1,780,445	1,957,874
固定負債		
退職給付引当金	564,164	559,664
その他	27,130	27,130
固定負債合計	591,294	586,794
負債合計	2,371,740	2,544,669

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,440,000	1,440,000
資本剰余金	1,203,008	1,203,008
利益剰余金	3,367,988	3,257,498
自己株式	△108,528	△108,528
株主資本合計	5,902,467	5,791,977
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△271	△87
評価・換算差額等合計	△271	△87
純資産合計	5,902,196	5,791,890
負債純資産合計	8,273,937	8,336,559

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	901,143	1,057,633
売上原価	667,450	840,270
売上総利益	233,693	217,362
販売費及び一般管理費	257,004	286,218
営業損失(△)	△23,310	△68,855
営業外収益		
受取利息	2,006	1,889
為替差益	306	-
その他	995	569
営業外収益合計	3,308	2,459
営業外費用		
支払利息	85	70
固定資産除却損	75	426
為替差損	-	856
その他	0	0
営業外費用合計	162	1,353
経常損失(△)	△20,164	△67,748
特別利益		
受取保険金	-	57,796
特別利益合計	-	57,796
特別損失		
災害による損失	-	54,124
ゴルフ会員権退会損	300	-
特別損失合計	300	54,124
税引前四半期純損失(△)	△20,464	△64,076
法人税等	△6,430	△19,800
四半期純損失(△)	△14,034	△44,276

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(2018年9月4日の台風21号による被害の発生)

2018年9月4日の台風21号の影響による被害を受けたことに伴い、当第1四半期累計期間において、「災害による損失」として事業資産の修繕費用等54,124千円を特別損失に計上しております。なお、当該計上額については、現時点における合理的な見積りに基づいて計上しておりますが、当社の見積りと実績が異なった場合、当該計上額は今後変動する可能性があります。

また、台風に係る保険金額として保険会社から提示を受けた金額57,796千円を「受取保険金」として特別利益に計上しております。